

防 ぐ う 交 通 事 故

もしも保育園・入学シーズンになったら

子どもを交通事故から

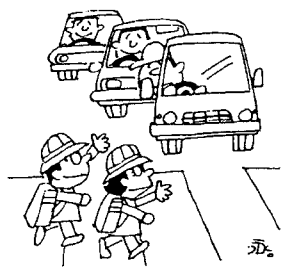
守りまこう

圧倒的に多い「飛び出し」

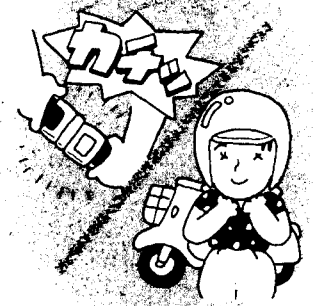


子どもの事故で圧倒的に多い原因は、「飛び出し」です。昭和六十三年の全国統計を見ますと、七歳から十二歳までの子どもの歩行中に起きた事故では、百人中四十八人が「飛び出し」によるものです。六歳以下では、この数字が約五十三人とさらに高くなります。飛び出しによる事故が、いかに多いかが分かります。こうした事故から子どもを守るためには、ドライバーの皆さんが次に挙げるような子どもの特性を知り、十分な注意を払うことが大切です。

- ① 一つのものに注意が向くと周りのものが入らない。
 - ② 子どもは視野が狭く、視点が低い。
 - ③ 大人のまねをして、横断歩道以外のところを横切ったり、信号無視をしたりする。
 - ④ 手を挙げさえすれば、車は止まってくれる、といったように、物事を単純にしか理解しない。
- 特に四月は、入園・入学のシーズンです。入園・入学を控えたお子さんをお持ちのご両親は、事前に通園・通学路と一緒に歩きましょう。そして、危険な場所を確認し、どんなことに気を付けなければいけないかを、具体的に教えてあげることが大切です。



自動車に乗ったらシートベルト



●シートベルトとヘルメット。
どちらも命を守る大切なもの——
忘れずに、正しく着用しましょう。

バイクを運転するときはヘルメット



うんてんしゅさん あんぜんうんてんをおねがいます。